2020年度の総会は、理事会で決議いただいた議事について、書面にて会員のみなさまにご報告させていただきました。遅くなりましたが、今年度の役員の皆さまをご紹介します。
2020年度より新しい理事1名、監事１名を迎える事になりました。
また西村文一氏と篠原教文氏、監事の出口芳子氏が退任されることになりました。ご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

## 2020年度役員名

| | | |
|---|---|---|
| 顧　　問 | 大橋　淳一 | |
| 顧　　問 | 西本　信也 | |
| 会　　長 | 中島　教芳 | |
| 副 会 長 | 野口　喜代美 | 地域交流部部長 |
| 副 会 長 | 植西　禮之輔 | 情報交流部部長 |
| 運営委員長 | 古谷　兼一 | 国際教育部部長 |
| 理　　事 | 水谷　敦子 | 国際交流部部長 |
| | 大谷　五十二 | |
| | 阿部　公子 | |
| | 池田　吉希 | |
| | 高野　由美 | |
| | 上原ジャンカルロ | |
| | 林　初広 | |
| | 運見　昌寛 | |
| | 関　純一郎 | |
| | 浜田　麻里 | |
| | 坂本　正太郎 | |
| | 曽田　玲 | |
| | 服部　金次 | |
| | 橋本　渓太郎 | |
| | 橋本　善信（新任） | |
| 監　　事 | 髙田　信男 | |
| | 松下　富男（新任） | |
| 事務局長 | 大河原　佳子 | |

（順不同・敬称略）

## 新理事・新監事　ひとことメッセージ

●橋本善信さん

こんにちは。新しく理事となりました橋本善信です。会長とご一緒にご近所福祉活動や生活支援ボランティアの活動をしております。外国人の方と接することはほとんどないのですが、市内には40か国ぐらいの方がおられると聞き、考えを新たにしました。会長からお話しがあり、気安く引き受けたのですが、多岐にわたる活動をされており、少し不安を感じておりますが、よろしくお願いします。

●松下富男さん

この度、監事に選任されました松下富男です。昨年は新たな令和の新時代を迎えて希望に胸を膨らませていましたが、一転、今年はコロナ感染症のため全ての事業活動が自粛となり残念です。
AIを介してではなく、人と人との交流を主目的とする当協会の事業活動再開は現下のコロナ禍では予測できませんが、早期に新たな国際交流による地域社会の創造に向けた諸活動が再開できることを祈念して事業および会計を監査する監事の立場で職務にあたって参りますのでよろしくお願い致します。

## Together

コロナ禍という単語が世の中を席巻し、もう違和感なく見聞きできるようになってきたことが悲しい現実です　×そもそも愛車がコロナでファンヒーターもコロナだけに、このウイルス名も何とかならないの？と思っていました。私だけかな？　◎禍を「なべ」と読んでた貴方はよほどの食いしん坊さんですよ　▼転禍為福、災い転じて福となるよう願うばかりです　◆コロナ暇なんて悲しい現実の方もおられるでしょうが、せめて禍が可とか花、香なんて字に代わって登場する化学（kaがgood）反応がおきる日を心待ちにしています　☆withコロナをwith KISで乗り切りましょう！（E）

甲賀市国際交流協会　事務局　〒528-0005　甲賀市水口町水口6053　甲賀市役所　別館2階
TEL：0748-63-8728　FAX：0748-70-6468　月～金9：00～17：30



第53号

甲賀市国際交流協会広報部
TEL:0748-63-8728 FAX:0748-70-6468
Email: mifa@mx.biwa.ne.jp
URL: https://kis-koka.org

# KIS通信

## ～おうちで参加 オンライン～ 世界まなびじゅく 6/20

新型コロナウィルスで、いつもの世界まなびじゅくが開催できない状態になりました。今まで楽しみにしてくれていた子ども達に申し訳ないと、思い切ってZOOMで開催することにしました。と言っても初めての取り組みで、うまくいくかわからない、何人の子ども達が参加してくれるかもわからない、不安で一杯の中、企画を始めました。

そのころ、日本人の子ども達は休校続きの後やっと学校再開の見通しがついた頃でした。日本在住の外国人労働者の雇止めなどのニュースを多く聞き、世界学びじゅくとずっとつながりのあった、愛荘町のコレジオサンタナの子ども達のことが気になりました。コレジオサンタナは、学校が休校になると行き場のなくなる子ども達が多くなることを校長先生が心配して、経営状況が大変な中でもなんとか授業を続けておられました。そんなコレジオサンタナの子ども達の話も聞きたくて、テーマをブラジルにして、ブラジルのことを勉強したり、コロナ禍、子ども達はどう過ごしていたか、何を思ったのか話してもらう機会にしたいと思いました。

当日は甲賀市内外の7人の子ども達とコレジオサンタナから4人と校長先生が参加してくれました。そしてなんと、参加者のおひとりのお母さんがブラジルサンパウロの日本人学校で先生をされていて、ブラジルにいるその先生と開催直前につながれることになりました。その時のブラジルは感染者が急増し世界で2番目になった頃でした。日本人学校の先生は、その時のブラジルの状況、コロナ感染が増加する文化的原因、ブラジルの貧富の差、そしてなかなか見られないブラジルの日本人学校の様子を、たくさんの写真を見せてお話ししてくださいました。参加者も、ブラジルからの生の写真と生の声を聴き、何かを感じてくれたのではないかと思います。

休校の間、日本の子ども達は外に出られず、ゲームばかりしていたという子どもや、学校の宿題が多すぎたと言う子どもも。でもどの子もそれなりに勉強していた様子で、子どもなりに考えて行動していた様子がうかがえました。回線の不具合などで、コレジオサンタナの子ども達の気持ちを聞くことができなかったのがとても残念でした。

最後にみんなでつながるゲームをしました。家にあるものを持って来て、その最初の文字で50音表の文字を全部消す、というゲームです。画面の後ろでおそらくなりゆきを聞いていてくださったお母さん達が、残り少なくなった文字で始まるものを探してきてくださったり、ブラジルから先生が「ナッツ」を出してくださったり、時間ぴったりに50音表の文字を全部消すことができた時には、離れていても連帯感や達成感を感じられました。

今回は初めての取り組みで、うまくいかず残念なところも多々ありましたが、ぜひ2回目のオンラインまなびじゅくはレベルアップし、より良く、より楽しい企画をしたいと思っています。また、コロナが落ち着いて対面にもどれるようになったら、またみんなで一緒に集まって今まで通りのまなびじゅくにもどりたいと思っています。オンラインでも対面でもみなさんの参加を待っています。

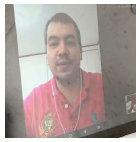
# コロナ禍の今だからこそ、できることを！

## 7/5おとなの世界まなびじゅく　～Zoomで今こそ語ろう！つながろう！～

コロナ禍において、あらゆる事業が見合わせとなる中、「今だからこそできることを！」と、オンラインミーティングシステムの「Zoom」 を活用して、外国人市民の方、子どもを持つ親、支援に携わる方などをゲストに、コロナによる教育や仕事等への影響やコロナに関連する支援活動等を語っていただきました。今回の参加者やゲストが、単につながるだけでなく、これを機会に、協会が「つなぐ役割」となることも大切であることを共通認識しました。

ゲストトーク
高橋ファビオさん（ブラジルご出身）…在住外国人にかかる派遣切りのことやコロナの影響の中で取り組んでいる新しい事業“キッチンカー”についての話をしていただきました。
岡崎ジャーミンさん（中国ご出身）…子供の休校中の生活・心配ごとについて、お話いただきました。
小橋力人さん（甲賀市ご出身）…コロナ影響の中での高齢者や障がい者への支援などの社協の取組み、課題についての話　また、今回、この「Zoomで語ろう！」の進行もしていただいた上原ジャンカルロさんからは、勤務されている三重県国際交流財団で受けている相談内容や取り組みについてお話をしていただき、最後に、甲賀市国際交流協会を代表して古谷運営委員長から協会の取り組みについてお話をさせていただきました。

こんな話題がありました
外国人からの相談…スーパーで中国語で話したら嫌な目で見られた。不要不急の外出自粛は伝わらない。熱のため仕事を休んでいたが、復帰するにあたり何も問題ないという証明を求められている。週１・２回休んでいるが、休みの日は有給を使うように言われた等
ブラジル人の就労状況…屋外で出店できるキッチンカーは感染の心配もなく、今後、２台目のキッチンカーを作って、派遣切りや雇い止めになったブラジル人の就労につなげたい



学校休業中の生活・心配等…日本人の親なら、この先に何があるのかだいたいわかるが、外国人の親は想像できないので、心配。その中でも、多言語での発信は有り難かった。
障害者の就労状況…障害者の就労先が無くなったり、工場等が休業になり福祉作業所での作業がなくなったが、通所者のため、作業所を閉めることもできなかった。
国際交流協会の取り組み…会議、学習会、まなびじゅくのオンライン実施など、対面での交流ができない中、今できることを！とボランティアが企画した。子どものまなびでは、サンパウロからも参加があり、オンラインだからこその事業となった。

グループディスカッションでは、テーマが多岐にわたり、外国につながる子どもは、家での時間が増えたが、母語ばかりで日本語を忘れているといった現状や外国人に有益な情報が伝わっていないこと、外国人への情報は二の次になっていることなど、いろいろな話題がありました。

当協会では、今だからこそできることを模索しながら、これからも「新しい交流の形」を考えていきたいと思います。

昨年12月末現在の県内の外国人人口は、108カ国約32,995人。このうちブラジル国籍が9,209人。製造現場で働く人も多く、地域経済を支えてきた。
甲賀市の生活相談窓口にも、生活に関する不安の相談が寄せられているとのことで、市の担当課である政策推進課・多文化共生係の高市係長にお話をお聴きしました。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本人同様、外国人にも大きな影響を与えています。外国人は言葉の壁や派遣・非正規の雇用形態の方が多いことなど、外国人特有の課題を抱えていることもあって、コロナ禍以降、市役所の相談窓口には生活困窮に陥った外国人が多数訪れており、生活福祉資金の貸付においては、申請者の約半数が外国人となっています。

また、ハローワークからは、外国人による雇用保険の申請が増加しているとの情報もあり、コロナの影響により外国人の離職が進んでいる実態が浮き彫りとなっています。

本市においては、感染症対策として、いち早く外国人専用の相談センターを開設し、また、その後さらに外国人相談員を雇用して相談体制の拡充を図り、外国人への丁寧な情報提供に努めてきました。

今後も、国際交流協会と連携を図りながら、外国人が安心して本市に住み続けることができるよう、新型コロナウイルス感染症対策を推進してまいります。

## ブラジル人学校と保育所に寄付

新型コロナ感染拡大以降、職を失った外国人労働者が増えたことで、子どもたちが通う外国人学校や保育所の月謝を払うことができない家庭が増え、経営が厳しくなっています。

湖南市にあるサントスデュモン保育所（当協会会員）と愛荘町のコレジオサンタナ学園には、甲賀市からも多くの子どもたちが通っています。また、世界まなびじゅくや夏まつり、フェスタ等で、ブラジルのサンバや食べ物を紹介していただくなど、当協会の活動にもいつもご協力いただいていることから、7月、心ばかりの寄付をお届けさせていただきました。

6月の世界まなびじゅくに参加してくれたサンタナ学園の中田園長と子どもたち

吉原園長と大河原事務局長

## 感染予防対策をして　日本語教室　やっと始動！

土曜日の教室の申込の様子

受付での検温の様子

2020年が明け、４月からスタートする日本語教室の準備を始めていましたが、このあと世界中に新型のウイルスが広がり、教室が開けなくなるという事態になってしまうなど、そのとき誰が予想していたでしょうか。

緊急事態宣言の発令、市内での集団感染発生により２度の延期を経て、日本語教室は10月からスタートすることになりました。

9月19日は「にんじゃ日本語教室」の申し込み受付とインタビューを、10月5日には「日本語教室　虹」のインタビューを実施。入口での手指消毒、検温、机はアクリル板で仕切り、部屋のドアを開けるなど、しっかり感染予防対策を行いました。

半年遅れの再開になりましたが、土曜日夜の教室には60人、月曜日昼の教室には新たに8人の申込があり、コロナ禍にも関わらず、いやコロナ禍の中だからこそ日本語教室という場が求められているのではないかと思います。

新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあるというものの、油断はできません。支援者、学習者ともに協力しながら、withコロナ時代の新しい日本語教室を作っていかなければなりません。その中でまた、変えられないもの、変えてはいけないものも見えてくるのかもしれません。

| | | |
|---|---|---|
| 広報・総務チーム | | KIS通信（第53号・第54号・第55号を発行予定） |
| | | 協会役員研修、事務局員研修 |
| | 毎月1回 | 運営委員会 |
| | | 理事会 |
| | | チーム会議 |
| 海外交流チーム | | 利川交流事業　オンライン　利川Café |
| | 10/24(土) | 「シンガポールってどんな国？」 |
| 外国につながる子ども応援チーム | 毎週土曜 2時～5時 | 外国につながる子どもたちの学習会 |
| 国際教育チーム | 未定 | 世界まなびじゅく |
| | 10/31(土) | ZOOMでハロウィン |
| 他団体協力チーム | 11/12(木) | 水口東高校　総合学習「甲賀探求」への協力 |
| | 11/13(金) | 2020年度竜王町「人権啓発セミナー」 講演 |
| | 11/28(土) | 甲賀看護専門学校　オンライン　出前講座 |
| | 2月 | 市との共催事業「多文化共生研修」 |

## 甲賀市国際交流協会　これからの事業について

今年度は、年間の事業を計画する際に、何を、いつ実施するかということが決められず総会の資料の事業計画についても、具体的な実施日等も記載できませんでした。

今後も、コロナウィルスの感染状況等により、見合わせとなることもあるかもしれませんが、Zoomなどを活用して、2020年度後半は、表記の事業を計画しています。

| | | |
|---|---|---|
| 日本語交流チーム | | やさしい日本語学習会・やさしい日本語の手引きの改訂 |
| 日本語教室 | | ボランティアミーティング等 |
| | 10/10(土)～ | 「にんじゃ」日本語教室　A教室スタート |
| | 10/17(土) | 「にんじゃ」日本語教室　B教室スタート |
| | 10/12(月)～ | 日本語教室　虹　スタート（個別教室も開催） |
| | | 日本語教室ネットワーク会議 |
| | | 日本語ボランティア養成講座 |
| 災害時多言語情報 | | 災害時多言語情報センター運営会議 |
| | 2月or3月 | 災害時多言語情報センター設置運営訓練（予定） |
| 国際交流フェスタ | 1/31(日) | オンライン国際交流フェスタ2020（予定） |
| グローバルセミナー | 2月or3月 | グローバルセミナー |